JDA主催日米交歓ディベート・オンラインイベント開催のお知らせ

(JDA Forum on English-Language Policy Debate: An Online Lincoln Douglas Debate and Lecture Featuring the CIDD US National Debate Team)

* 日時：6月19日（月）19:00-21:00
* 配信方法：Zoom Webinar（Peatix の[イベントページ](https://peatix.com/event/3543605?utm_medium=web&utm_source=results&utm_medium=%3A%3A%3A0%3A3543605&utm_campaign=search)よりチケット購入）
* Debaters:
  + Nine Abad (University of Houston)
  + Daniel Ardity (Vanderbilt University)
* Coach: Professor Kenneth Newby (Morehouse College)
* Timetable:

19:00 Opening & Introduction

19:05 PART 1. An Exhibition Debate & Commentaries

Resolution　Resolved: That Japan should legalize gestational surrogacy.

Debate Format: Lincoln-Douglas Style  
Affirmative Constructive Speech (6 minutes)  
Cross-Examination (3 minutes)  
Negative Constructive Speech (7 minutes)  
Cross-Examination (3 minutes)  
First Affirmative Rebuttal (4 minutes)  
Negative Rebuttal (6 minutes)  
Second Affirmative Rebuttal (3 minutes)

19:50 Recess

20:00 PART 2. Lecture and QA by Professor Kenneth Newby (Morehouse College)

Topic:  Debate coaching as an academic profession and student debater’s academic and professional career in the United States （\*参加者は質問をLiveQに投稿）

21:00 Closing

\* 本イベントで使用する言語は英語のみとなります。日本語通訳は提供されません。

\*\* 詳細については、Peatixのサイトをご覧下さい

* 概要

日本ディベート協会（Japan Debate Association; JDA)は、米国National Communication Association（NCA）のthe Committee on International Discussion and Debate (CIDD)と日米交歓ディベートを隔年で共催しています（＊過去の日米交歓ディベート情報（[日本語](https://japan-debate-association.org/seminar/exchange)、[英語](https://japan-debate-association.org/en/seminar/exchange/history)））

今年は待望の「対面」開催となります。米国代表ディベートチームが4年振りに来日し、6月14日から19日まで日本各地でディベートを通じた日米文化交流を行います。そこで今回JDAは、本物のAmerican College Debateに触れたことがない、あるいは触れなくなって久しい、英語による本格的なPolicy Debateに興味をお持ちの皆様のために、平日夜開催のオンラインイベントを企画いたしました。Part 1は米国代表チーム2名によるExhibition Debate (one on oneのLincoln-Douglas formatを使用）、Part 2は引率コーチによるLectureおよびQ&Aです。  
  
近年は国際ディベート大会への参加やその他交流イベントにより、ディベートを通じた国際交流もさほど珍しくはないかもしれません。しかし、CIDDは1922年に設立された世界で最も歴史の古い国際的なディベート教育の組織（現在はNCAの一委員会）であり、JDAがCIDDと共催する日米交歓ディベートは[半世紀以上の長い歴史を持つイベント](https://www.natcom.org/convention-events/nca-sponsored-events/committee-international-discussion-and-debate)です。

今回選出されたAbadさんとArdityさんは、現在のAmerican Debateの奥の深さかつ幅の広さを体現する大学生です。いずれも高校・大学レベルでresearch-intensive policy debate (HS policy, NDT-CEDA, Lincoln-Douglas)またその他フォーマットのディベート・スピーチ大会（parliamentary, individual events)に参加し、優秀な成績を収めています。

**近年は国際ディベート大会への参加やその他交流イベントにより、ディベートを通じた国際交流もさほど珍しくはないかもしれません。しかし、CIDDは1922年に設立された世界で最も歴史の古い国際的なディベート教育の組織（現在はNCAの一委員会）であり、JDAがCIDDと共催する日米交歓ディベートは半世紀以上の長い歴史を持つイベントです。また厳密に「米国代表」を名乗ることができる大学生ディベートチーム(United States National Debate Team)は、全米で公募され、CIDDによる厳正な審査を経て選出されたチームのみであると言えるでしょう。**  
  
加えて引率のNewby教授は、現CIDD委員であり、HBCU（Historically Black College & University）名門校の一つMorehouse Collegeのディベートプログラム主任として多くの優秀なディベーターを育ててきたディベート教育のベテランプロです。  
  
あなたもこの機会に是非The Best of American College Debateを目撃してください！